

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和6年2月9日(金) 9時30分開議 令和6年2月9日(金) 13時55分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、齋藤泰博委員、足立義則委員、安井博幸委員、隅田雅春委員、小島政行議長
4. 欠席議員	なし
9. 会議に付した事件	議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第15号)
10. 議事の経過	<p>向井座長 挨拶</p> <p>向井座長 開議宣告</p> <p>9:30 開議</p> <p>■選挙・監査</p> <p>日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第15号)</p> <p>挨拶</p> <p>【主な説明】 選挙・監査より説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>安井委員 丹波篠山市畑財産区議会議員選挙に関し、議員になって8年ぐらいになるのですけれど、今まで畑財産区で選挙があったという記憶がありません。毎回予算を上げて、結局選挙しないという繰り返しのような感じがするのですが、畑財産区において1番直近で選挙があったのは何年ぐらい前なのでしょうか。</p> <p>選挙・監査 畑財産区につきまして、これまで実際に選挙があったことは1度もございません。</p> <p>安井委員 今まで1度もないということで、これからも多分ないのではないかというふうに思います。それだったら選挙しなくていい</p>

選挙・監査

ように仕組みを変えるとか工夫はできないのでしょうか。毎回予算を上げて、結局選挙しませんでしたというのを繰り返すようなことはもうやめたほうがいいと思うのですが。

今おっしゃられたことにつきましては、選挙管理委員会で答えを出せませんが、畑財産区の議会議員の中で方針を決めていただき、それに従うことになります。

安井委員

権限は畑財産区にあるということで、今おっしゃったことは、よく理解してるつもりです。職員は、ルールに従ってやっておられるだけなので、どうにもならないということだと思いますけれども、実際にこれまでなかったし、これからも多分ないだろうということは分かっているわけなので、職員のほうから、これからも選挙しないのであれば、毎回選挙管理委員会が仕事しなきゃいけないような仕組みを変えたらどうですかというぐらいの提案はされてもいいのではないのでしょうか。

選挙・監査

選挙管理委員会としては、そういうようなことはなかなかできないのですけれども、管財契約課が現在担当をしておりますので、財産区の在り方については、新たに就任された議員の中で、今後どうするべきなのか、今現在、財産区の基金を取崩しながら選挙費用を工面されているような形ですので、基金もだんだん目減りしていきただけですので、その辺の在り方も含めて、どうしていくべきかについて、この4年間をかけて議論されるというふうには聞いております。

安井委員

ぜひそうなったらいいなと思いますけども、例えば、昔、丹南町のほうでは大山財産区というのがあって、旧町が合併するときに大山財産区だけは別もんやみたいなことであったような気がしますけども、地域の財産区に市の執行が関わってくるのが、私はすっきりしないというか、何で畑だけ残っているのかなというのが気にかかります。

隅田委員

県議会議員選挙に関し、今回精査され、減額の補正予算が出されていますが、去年の4月に行われたということであれば、もう少し早い時期に精査ができるのではないかと思うのですが、この3月議会に計上された過程は何かということと、あと畑財産区議議員選挙に関しては、点字点訳者謝礼が5,000円の減額になっておるのですが、例えば県議会議員選挙においては、点字点訳者の謝礼はどのぐらい使われているのでしょうか。

か。

選挙・監査

御質問の1点目です。県議会議員の経費の件ですけれども、今年度職員の給与に係る人事院勧告がございました。人事院勧告の差額の分の確定が1月にずれ込んだこともあり、それから県へ報告をしており、最終的に確定をした上での今回の補正予算の計上ということになっております。

それから、2点目です。

県議会議員選挙での点字点訳者の謝礼に関してですが、これまでから点字投票があった場合には、点訳者につきまして、開票時に来ていただきまして、点訳していただき、1回5,000円ということでお世話になっております。畑財産区の選挙につきましては、無投票となり開票事務がございませんので、今回減額ということになっております。県議会議員は開票がございましたので、点訳をお世話になりお支払いをしている状況でございます。

隅田委員

県議会議員選挙に1回5,000円の支出ということですが、1回のみなのでしょうか。

選挙・監査

点訳の方につきましては、開票のときだけの1回のみということになります。

■企画総務部

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

企画総務部 挨拶

【主な説明】

創造都市課

総務課

ブランド戦略課

【主な質疑】

安井委員

地元就職促進費に関し、90万円の減額補正が出ていますが何人を予定されていて、実際は何人になったのか説明をお願いします。

企画総務部

この制度は、丹波篠山市に居住していて高校や大学等を卒

業してから1年以内の方が市内事業者にて正規雇用者として就職されたら、就職時に5万円、その後そのまま働き続けて1年を経過したら5万円という2段階で奨励金の交付を受けるというものになっております。実績としましては、令和4年度の新規学卒者就職奨励金の対象者は47名いらっしゃいまして、その内1年を経過するまでに8名退社されておりましたので、今年度第2期分として申請されたのは39名となっております。令和5年度に新たに就職された方は、申請者は47名となっております。ですので今年度申請されたのは、合計で86名という実績になっております。

隅田委員

3項目お伺いします。公共交通対策事業に関し、コミュニティバス運行補助金、市単独バス対策補助金を計上されている理由が、燃料費の高騰ということですが、大体何%ぐらいの高騰だったのかなということと、上限運賃制事業補助金についてはニコパカードの利用者が大変増えたということですが、見込みに対してどの程度、またどういう世代の利用が増えたのかということと、あと日本遺産・創造都市推進事業に関し、ユネスコ創造都市ネットワーク会議のトルコ、イスタンブールでの開催が大統領命令で中止になったとのことで、ウェブ会議をされたということ、ウェブ会議の参加者の状況、市としての参加状況はどのような感じで、どのような中身のウェブ会議がなされたのか簡単に説明をお願いしたいと思います。

企画総務部

コミュニティバス運行補助金、市単独バス対策等補助金の燃料費高騰の件ですが、パーセンテージまでは、把握はできていないのですが、運行経費の中で燃料費高騰が経費の増加の1番大きな要因となっております。あと、あわせて人件費につきましても、今回ドライバー不足というところで、新しく入ってこられる社員さんから現役社員も含めまして、やめていかれる方もおられるというところで、人材を確保していかなければいけないというところから全体的な人件費の改定であると確認をしております。ニコパカードにつきましては、販売数量としては令和3年度から上限運賃制を導入しまして、令和3年度から令和4年度にかけては、1.5倍ほど増加をしまして、その後、令和4年度、令和5年度途中の段階なんですけれども、昨年度と大体同じぐらいの販売数量という形になっております。です

ので、推移については堅調に進んでいるのではないかといいところになっております。あと、どのような方が、ニコパカードを購入されているかというところなんですが、全体的に若い方が購入していただいています。特に、昨年度から配布をしております中学3年生に対して、このニコパカードを今年度6月に中学3年生に全て配付をさせていただいたのですが、そのようなことで、年齢的に言いますと中学生も含めまして若い方の購入となっております。

企画総務部

ユネスコ総会の参加状況でございます。これにつきましては、10月にフランスに本部を置いて開催されまして、時差が7時間ありますことから、本市では午後9時から深夜零時までの会議でございました。時間的なところもあるのですが、出席者につきましては市長、それから秘書広報課長が、前段30分程度参加をしております。その後、担当職員4名で参加をいたしまして、ウェブの会議で基本英語での会議になっておりますので、職員の簡易的な通訳によりながら、会議に参加したところでございます。

隅田委員

ウェブ会議の件ですが、例えば丹波篠山市としてユネスコにアピールされた項目がありましたら、教えて下さい。

企画総務部

ウェブ会議につきましては、一定時間の制約がございました関係で、各加盟団体からの発表ということが許可されておられませんので、市からの発表は、今回はございませんでした。

安井委員

公共交通対策事業に関し、先ほど隅田委員の聞かれたニコパカードの件ですが、今実際市内でニコパカードは何枚ぐらい流通しているというか、保有されてるものなんでしょうか。

企画総務部

全体的なことは、把握はできていないのですが、令和3年度に販売した累計が、大体110件で、令和4年度については142件で、1月現在ですが、令和5年度の販売数については125件ということになっております。中学生については約400件という形になっておりますので、全体数約800弱という形になっております。こちらで把握しておりますのは、市役所本庁とあと各支所で販売した数になっておりますので、ウイング神姫で販売されている数がこちらのほうで把握できていない部分もありますので、あくまでも市で販売した数量としてご理

安井委員

解頂きたいと思います。

市単独バス対策等補助金が、燃料や人件費の高騰等で合計600万円余りなんですけども、要するに燃料の高騰と人件費の割合というのがどのぐらいのものなのかお尋ねします。

企画総務部

割合につきましては、燃料費がかなりのウエートを占めてるということをお申し上げたんですけども、人件費においても上がっている要因になってはいますが、経費の増加の内、燃料費がほぼ占めております。物価高騰ということで、1月に経済対策の補正予算を、お願いしたわけなんですけども、そういうところでも補助をしていますので、燃料費がかなりのウエートを占めてるということは確認しております。

小島議長

住宅・土地統計調査費に関し、職員で事業ができたということですが、会計任用職員等を募集しても集まらなかったのか、その辺り説明をお願いします。

企画総務部

お尋ねの件ですけれども、住宅土地統計調査におきましては、本年度、統計担当ということで再任用職員がブランド戦略課に配置になりましたことから、当初予算で予定していた会計年度任用職員の募集は行いませんでした。

■ 学校教育部

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

学校教育部 挨拶

【主な説明】

西部学校給食センター

【主な質疑】

安井委員

西部学校給食センター管理費に関し、米庫空調設備工事の不用額を今回の補正で減額することですが、機械はいつから活用されているのでしょうか。

学校教育部

8月に完了し、それ以降活用しています。

【主な説明】

学校教育課

教育研究所
学事課

【主な質疑】

隅田委員

学習環境支援事業に関し、西紀運動公園プール利用について、新年度また城北・畑小学校なり活用校が増えてくるのですが、生徒、先生の利用状況の反応をお聞きしたいというのと、学校施設維持管理費に関し、味間小学校の外壁工事が当初予算額より5千万円以上減額となっていますが、当初を考えていた工事と、どこが不要になって、これだけの金額が要らなくなったのか、その辺り簡単に説明をお願いしたいと思います。

学校教育部

西紀運動公園のプール利用について説明いたします。実際に昨年度やってみて、子供たちや教員の声から、専門的なスタッフの指導というのは非常に有効であるとのことでした。小学校の場合、水泳指導に特化した教員がいるというわけではありませんので、西紀運動公園のスタッフの指導は特に水泳を苦手としている児童に対して効果的であったと考えております。一方、移動に時間がかかってしまうというところは、今後の課題としては挙げられております。

学校教育部

味間小学校の外壁等改修工事について、減額となった理由について説明させていただきます。当初、外壁改修工事とエレベーター改修工事を分けての発注を考えておりました。エレベーターについては、前年度に実施した市のエレベーター改修工事におきまして、単年度で納入するのが厳しいのではないかという情報がありましたので、繰越しを見込んで別発注する予定でした。発注に際し、改めてメーカーに確認したところ、早期発注であれば年度内竣工が可能であるという回答を得ましたので、合算して発注しました。これによりそれぞれ発注するよりも、経費が下がりました。加えて、エレベーター改修工事におきまして、起工にあたり、直近の改修工事の実績を踏まえて、見積り単価を再精査した時点で2千万円規模の減額になっておりました。最終的に、ある程度増額を見込んでいたのですけれども、味間小学校については保存状態が良く、当初見込んでいたよりも費用が増えなかったため、予算が余っております。当初見込んでいた工事ができていないわけではなく、全て必要な

隅田委員	<p>工事を入れた状態で、業務効率化や、そこまで建物が傷んでいなかったため、当初の見込み金額ほど、費用は増えなかったということです。</p>
隅田委員	<p>外壁がそこまで傷んでいなかったという説明ですが、当初予算をつくられるときには、どこかの調査会社といたしますか、ある程度の調査をして予算計上されているのか、それとも単純に経年劣化でこのぐらいはかかるだろうという形で予算計上されているのか、その辺り説明をお願いしたいと思います。</p>
学校教育部	<p>味間小学校には、前年度に設計会社による設計業務を行っております。その際に、目視ではあるのですが、現況を確認して、損傷具合は確認しております。あわせて、工事の発注時においては、過去の実績を勘案して積算しています。</p>
小島議長	<p>教育研究所事業費に関し、コミュニティースクールの件ですが、現状何か課題があればお知らせ願いたいんですが。</p>
学校教育部	<p>コミュニティースクールについては、令和5年度から3年間をかけて園への導入を考えているところです。園への導入については、園と学校の運営等について両方を同じ会議で検討することができるのかというようなことを心配されていることもありまして、慎重に考えておられる学校園が多かったということです。令和6年度以降、そこをまた進めていく予定にしております。</p>
安井委員	<p>スクールバス管理事業に関し、820万円を減額することですけれども、スクールバス26台とおっしゃいましたが、どういうふうな仕組みになってるのかよく分からないので詳しく説明お願いできますか。</p>
学校教育部	<p>バスの運行委託料につきましては、ほとんどの路線が長期継続契約しておりますので、金額が変わることはありませんが、臨時便としまして、1つは古市地区から今田保育園に通う場合で、乗車時間が大変長くなるような場合に、臨時でもう1台運行するための委託料と、あと路線バス通学をしている学校が何校かありますが短縮授業などで、路線バスの時間と合わないときに臨時で運行するための委託料を見込んで予算を組んでいますが、その分に不用額が出たという形になります。</p>
安井委員	<p>短縮事業等が想定よりも、減ったということと理解していいんでしょうか。</p>

学校教育部

そうです。臨時運行につきましては、短縮授業や部活動の早朝練習や土日練習などの関係もあります。その分が、想定よりも少なかったという事になります。

■社会教育部

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第15号)

社会教育部 挨拶

【主な説明】

社会教育課

文化財課

【主な質疑】

安井委員

西紀運動公園管理費に関し、プールの工事の件ですけども、ヒートポンプは複数台あり、配管バルブを今回設置することによって全面休館しなくていいというふうに理解していいのでしょうか。ヒートポンプは、具体的に何台あるのでしょうか。

社会教育部

ヒートポンプにつきましては、12台あります。そのうち8台を今回更新する予定としています。現在施設の老朽化等もあり、設備の更新時期に来ていますので、今回稼働に必要な部分8台を更新する予定としています。配管バルブにつきましては、系統がそれぞれあるので、給水管がつながっており休館しなければポンプが更新できないことが、この11月に実はわかりました。その部分を今後メンテナンス含めて解消していくためには1基1基、更新をしていく必要があるので、バルブを設置することによって、今後のポンプ等の機会設備の更新が休館することなく対応できるようになると考えています。

安井委員

そのようにしていただいたら非常にいいかと思えますけども、ヒートポンプの耐用年数はどのぐらいなのでしょう。

社会教育部

ヒートポンプにつきましては、大体8年ぐらいになっています。指定管理者のほうで、いろいろやりくりをしながら延命修繕をしながら利用していますが、配管設備については更新が必要になってくる場合があると認識頂けたらと思います。

安井委員

毎年10月に休館してメンテナンスされるというふうに今聞きましたけども、どのぐらいの期間を休館としてそういうメンテナンスに充てておられるんですか。

社会教育部	<p>10月に夏の設定と冬の設定を切替えています。そのときに、約2週間程度休館をします。今回、ポンプの改修に伴っては約3週間必要というふうに聞いています。そこについては、スクール事業のやりくりを指定管理者と調整させていただきながら、できるだけ営業補償等が発生しないような形で工事を進めたいと考えています。</p>
隅田委員	<p>脊椎動物化石保護・活用事業に関し、これまでは石割体験をしておったけど、これからはクリーニング体験に移行しているというふうな説明を受けました。クリーニングは、非常にレベルが高いと思うのですが、今までの石割体験からクリーニング体験へ移行されるその思い、また指導者の数もクリーニング体験の方が難しいから多くの方が個別に関わる必要があるのではないかと思うのですが、指導者謝礼が減額になったりもしておるのですが、その辺りを少し説明していただければと思います。</p>
社会教育部	<p>まず石割体験からクリーニング体験に移った経緯ですが、1番大きな理由は石割に適した柔らかい岩石の数が少なくなって底をついてきております。そういったことで、今回クリーニング体験として、削って掘り出していくという作業に変えたわけです。写真を持ってきておりますので見ていただいたら、石膏に中南米のサメの歯やアンモナイトの化石を埋め込んで、それを竹串といいますか竹ベラみたいなもので掘り出すという実際のクリーニング作業に近いような体験です。作業の最初に説明すれば個々に取組んでいただく事が可能です。石割体験の場合でしたら、出てきたものを実際に判定しなければなりませんので、ボランティアの指導者の方々に、一つ一つ確認をとらないといけないということでご協力頂いていましたが、クリーニング作業の場合は、一度説明してしまえば、最後まで、各自でできるというようなことから報償費の減額となっています。</p>
隅田委員	<p>この化石は、本物なのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>本物です。中南米で出たそのサメの歯やアンモナイトとかの小さな化石ですが、それを石膏中に埋め込んで、実際はエアフローという歯医者さんが使うような道具を使い、それを竹ベラに変えて、掻き出していくという体験作業をしています。</p>

【主な説明】

中央図書館
田園交響ホール

【主な質疑】

隅田委員

図書館管理運営費に関し、国際ソロプチミストささやまさんから、図書購入するための寄付をいただいたとのことですが、本の購入に際しての要望はあるのでしょうか。

社会教育部

以前は具体的に購入に際してのご意見もちょうだいしておりましたが、ここ数年については、特にご意見等はいただいております。図書館としては、せっかく貴重な寄附を頂きますので、児童書から一般書まで幅広い分野で購入させていただきたいと考えております。

■こども未来部

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

こども未来部 挨拶

【主な説明】

子育て企画課
保育教育課

【主な質疑】

隅田委員

今田こども園整備事業に関し、追加資料の1ページ建築工事の基礎部分に際し、建築確認申請において指摘があつて水平方向剛性不足等の指摘が出ています。部長の説明で、こども園の進捗状況は60%ということですが、建築確認を出して指摘されたときに、対応すべきだと思ふのですが、その辺りの経過の説明をお願いしたいと思います。

こども未来部

時間差の関係になるんですけども、まず①から③ということで3つの要素がございます。まず①の地中梁の鉄筋径の変更、鉄筋の太さの変更、それから、野地板合板追加につきましては、建築確認を審査する兵庫建築確認検査機構から5月17日に指摘がありました。また②につきましても、防湿対策ということで8月8日の工事の工程会議の折におきまして、必要性が判明をしております。したがいまして補正予算の機会としては、9

月、12月ということでこれまで2回はあったと思っており
ます。こうした大きな工事におきましては、工事の途中で使用する部材を変更する、あるいは設計自体の変更を行うということがよくございます。そのたびに、金額の増減が生じるわけなのですけれども、都度補正予算ということになりますと、工事に相当な期間がかかってまいりますので、工期を予定どおりに進めることが難しいということもございます。また、そういった事情もございますので、大きな工事の場合は最終段階で精算の補正をして予算をくくるのが一般的な取扱いなんですけれども、ただその場合は、通常、補正予算では減額、予算が確保されている中でいろいろと実施をしていくというのが原則でございますので、最終精算で減額というところが本来であると思って
おります。今回増額ということになってしましまして、そのことにつきましては申し訳ないと思っております。これは言い訳になるかもしれないんですけれども、夏から秋にかけて産業廃棄物の処理に相当な時間を費やしてございまして、本来の建築の金額の精査に時間を割けなかったという部分と、全国的に建築資材が不足をしております。そうした中で、指摘事項に係る部材の発注も急いでやらなければ、工期を予定どおりに間にあわすことができないという中で、進めてきた背景もござい
ます。本当にこの時期になって申し訳ないんですけれども、工事を完了して、予定どおり開園するために補正予算の増額をお願いできたらと思っております。最後の③の火災報知機、火災感知器や非常用照明につきましては、確認申請の指摘は5月29日ということではございましたが、こちらはまだ施工していません。今後の内装の段階での施工となりますので、補正予算の成立後に着手をしていきたいと思っております。

隅田委員

工事の経過の途中で剛性不足とかの指摘があったのかなと思ったり心配したもんですので、説明で理解できました。あと、こういう費用の増減の説明はあるんですが、まだ私確認はしていないんですが、環境対策でのZEB Ready という形で、ある段階の認証を受けたというふうに聞いたのですけれども、そういうあたりの説明が一切なくて、今度城東こども園はさらに上のZEB Ready に近いあたりの認証が受けられるようなこども園の設計になっておるといふようなことも少し聞いたのです

が、そういう、環境に対してどのような配慮をした設計であるかといった説明もこの委員会でしていただければと思いますがいかがでしょうか。

こども未来部

補正に関しましては、私のほうも全般の把握する立場でございますので、できていなかったということでそれについては深くおわびを申し上げたいと思います。分かった段階で、何度も何度も産業廃棄物の処理で議会の皆様にお伝えするわけですから、その段階でこういった状況だとというようなことでお伝えもすべきだったところでございますが、私も本当にここ最近こういった状況を聞いたような状況でございますので、今後、全般に目配り気配りをさせていただいて、今後こういったことがないようにさせていただいて、もし必要な情報があれば議会の皆様にもお伝えさせていただきたいと思いますので、その点については改めて申し上げたいと思います。それから、隅田委員のほうから言われました今田こども園は、産業廃棄物が出てきてマイナスのイメージばかりになってしまってるのですが、また資料だけお配りをさせていただきたいと思いますが、ZEBというのが国でいうと一番ポピュラーというかスタンダードな環境評価の基準なのですが、今田こども園については、BELSということで、環境評価基準で5つ星を取得予定ということで今進んでおります。5つ星が何かといいますと、お配りした資料に書いてあるのですが、簡単に言いますと、一般の消費エネルギーよりも約40%削減できるという形の設備を導入させていただいております。具体的に何を入れているかといいますと、今田こども園の園舎にはヒートポンプシステム、それから、全熱交換器、人感センサー、LED照明、太陽光発電、複層ガラスなどこういったものを整備させていただいて、消費エネルギーとしては40%削減ということです。市内の公共施設では恐らく初めてになります。この認可をとるかどうかは別の話ですけども、市内の公共施設では初めてで、ささやま医療センターの施設が市内では取得されているということですけども公共施設は初めてになります。当初、ZEBということで、ZEBとZEBReady というのが環境評価の基準で2つあるんですけども、こちらのほうも検討の段階ではあったんですけども、全部ZEBReadyを入れようとする、更に建築費用が上

がっていくということで断念をしました。内部的にも、地球温暖化宣言ということでさせてもらっていますので、新しい公共施設はそういう方向で進めていってたんですけども、余りにも費用が高くなる。しかも、物価高騰があり、さらにこの表で高くなるということで、市としては通常よりも少し高い環境評価の基準を受けられるような形で市としてやってはどうかということで主として、ZEB Sはちょっと抑えて、それ以外の部分で省エネ評価を受けるような形で進めてきたというふうな状況です。今質問のありました、来年度の予算でもまだお世話になるんですけども、これから進めていく城東地区におけるこども園についても、ZEBというのはなかなか難しいです。非常に、費用が割高になりますので今田と同等程度の環境評価を得られるような形の設備で進められればと思っております。こういったことを余り地域の皆様にもお知らせもできていなかったのが先般、地元の会を開いたときには、今田のこども園については、こういう環境評価、省エネ評価を受けている施設であるということもお示しをさせていただきましたので、今後、建物ができた段階ですと、当然表示を建物のどこかにできると思っておりますので、そういったことを表示させていただいて、保護者、あるいは地域の皆さんにもお知らせできればと思っております。

安井委員

今田こども園について、もう少し聞きたいんですけども、先ほど部長より60%工事ができているということだったんですけども今説明があった構造的に補強されるというのは、建物の構造的な部分ですから強度を増すような工事はもう既に終わっているというふうに理解していいんですよね。

こども未来部

おっしゃるとおり、実施が終わっているという状況です。

安井委員

分かりました。事後報告ということで理解します。

こども未来部

御指摘どおりで、本当その点について私のほうからおわび申し上げたいと思います。今後そういった状況が出た段階で、きちんとお伝えもさせていただいて、本当は多分産業廃棄物のあたりぐらいで御報告ができたと思うんですけども、それについては改めておわび申し上げます。

安井委員

管外保育運営事業に関し、保育運営費のアップの件が補正で計上されていますが、予算を立てるときには何人ぐらいで想定されてて、実際には何人ぐらいになったのか、それとも人数は

	<p>変わってないんだけどコストが上がったのか、説明をお願いできますか。</p>
こども未来部	<p>今回の補正につきましては、国が決めている公定価格が全体的に上がったことによる変更となっておりますので、人数が変わったということではございません。</p>
小島議長	<p>児童福祉一般事務費に関し、ひょうご保育料軽減事業補助金と施設等利用給付費の2つなんですけど減額の理由をお願いします。</p>
こども未来部	<p>ひょうご保育料軽減事業の対象者の精査をする上で、想定していた人数より対象者が少なくなったということで、減額をしております。</p>
こども未来部	<p>補足させていただきます。人数を申し上げますと、全体で41人見込んでおりましたところ、対象者が37人に減ったところでの減額でございます。</p>
こども未来部	<p>それに加えて、施設等利用給付費の減額の件で回答させていただきます。こちらにつきましては、市内から市外の私立幼稚園、また公立幼稚園、認可外保育施設等を利用される方についての助成という形になってるんですけども、今年度施設を利用される方が減りまして、その関係で今回減額しております。人数につきましては、当初公立幼稚園が一人でしたがその方がいらっしゃらなくて、あと認可外保育施設については13人で計上していたんですけども、8人になっております。</p>
小島議長	<p>ひょうご保育料軽減事業補助金について、広報はどのようにされているのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>広報とかいうことではなく、対象者に向けて案内をしています。それで申請頂いて、今まで払っていただいたものに対して補助金をお渡しするという状況になります。</p>
向井座長	<p>2点お伺いしたいです。次世代育成支援対策事業に関し、事業の精査ということなんですけれども、令和7年度からの子ども・子育て計画のための調査をされていたと思うんですけども、今の進捗状況と今後の予定を教えてください。もう一つは私立認定こども園運営事業費が400万円の増額になるんですけども、国の制度がどのように変わったのかということと、あと公立の認定こども園に関しては、このような制度が適用されないのかということをお伺いしたいと思いま</p>

竹見課長

す。

私から子ども・子育て支援事業計画の現在の状況につきまして、回答させていただきます。今回、子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たりまして、今年度の6月補正で予算を計上させていただいて、承認頂き、事務を進めてまいりました。ただ、この事業計画が全国的な計画でございまして、入札しても不調が続き、3回目の入札により、10月に業者決定をいたしまして、そこから関連資料データの集積を行いまして、アンケート調査の実施に向けて子ども・子育て会議を開催させていただいております。アンケート調査につきましては、1月5日に、対象者に発送をし、1月22日までの期間で調査期間を終え、回収率といたしましては、就学前児童が61%、小学生児童61.7%、合計61.4%の方に回答を頂いております。今後の予定といたしましては、アンケート調査の取りまとめを、現在、業者に行っていただいております。4月末を目途に調査結果の取りまとめができるような形になっております。その後、庁舎関係内のヒアリング、また量の見込み等々の調査、を実施し、計画の骨子の作成、素案の作成について、子ども・子育て会議を開催しながら進めていき、令和7年2月を目途にパブリックコメントを実施して、3月に策定という形で現在進めている状況です。

こども未来部

私立認定こども園の運営事業111万5千円の増額の分について、説明をさせていただきます。こちらにつきましては、国が決定しております公定価格の増額という形で、管外保育事業と同じ理由での増額となっております。理由としましては、人件費の見直しがあったため、その分に対して公定価格が上がるという連絡が国から来ております。その部分に対して今回増額をするものとなっております。あと、公立こども園に対する、こういった負担金ですけれども、そちらにつきましては、交付税措置がされておりましたのでその分で計算がし直しされるのではないかと思うのですけれども、こちらにはその分について連絡が来ておりません。

安井委員

今田こども園整備事業に関し、今田こども園はこのBELSのファイブスターというふうに理解していいんですか。

こども未来部

5つ星施設の整備状況から見て、5つ星が獲得できる施

設であると考えますが、ただ実際には調査があり5つ星の施設として確定されることとなります。

■行政経営部

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第15号)

行政経営部 挨拶

【主な説明】

財政課

管財契約課

課税・収税

【主な質疑】

安井委員

庁舎管理費に関し、工事請負費の990万円の減額の件ですが、第2庁舎空調の関係で工事費確定による減額だということですが、大きな金額が浮くんだというのが正直な感想でして、990万円浮いた要因は何にあると考えているのでしょうか。

行政経営部

工事にあたりまして、設計を組みます。そのときの予定価格としては約4,650万円として想定しておりましたが、実際に入札を行うと3,520万円で落札ということになりました。これについては、空調設備の機器代が大きなウエートを占めていますが、それが業者の努力で下げられた結果だと考えております。

安井委員

最初の見積りが4,650万円で落札が3,520万円ということは、1,100万円以上違うわけなのですが、これは定価と仕入価格の違いみたいな感じで理解したらいいのでしょうか。

行政経営部

予定価格を作成する上では見積り等をしていくのですが、業者によっては、仕入れルートとかの関係で機材が安く入るケースもあります。

小島議長

地方交付税に関し、この時期に入ってくる金額としてこれは妥当なのか。何でもってこの金額になったのか説明をお願いします。

行政経営部

今回の地方交付税の増額につきましては、主に普通交付税

の増額でして、その要因につきましては国税の増収に伴う、国の地方交付税総額の補正によるものです。国における補正総額は0.9兆円でしたが、実際のところ地方に交付されましたのは約0.5兆円です。この0.5兆円の配分として、本市としては普通交付税で1億1,700万円分の追加配分があったところでございます。普通交付税につきましてはこういった国税の増があれば、再算定が行われ、この時期に追加交付があります。そのため、追加交付は国税の動きによって、あったり、なかったりという形になります。

小島議長
行政経営部

特別交付税は今後の動きはどうなんでしょうか。

先ほどの国全体の交付税の増額については、特別交付税も若干増額になっていたのですが、特別交付税につきましては、基本的には総額としては大きく変わっておりません。現状の市の予算としては10億4千万円ですけれども、令和4年度の決算ベースでは、それを3億程度上回る交付額でございました。特別交付税は年に二回交付がありまして、3月の交付でもって確定いたします。実績としては予算を下回ることはないというふうに思っておりますが、総務省からは、今回の能登半島地震を踏まえた算定になるという情報は入っております。

安井委員

令和5年度地方創生臨時交付金活用事業について、推奨事業メニューの4番目の農業経営安定対策給付金は、718万円余ったからそれが、学校給食の食材費に回ったというふうに理解していいんですね。

行政経営部

おっしゃるとおりでございまして、今回の補正予算で4番の事業の減額により残となる分を9番に追加するものです。

■議会事務局

日程第1 議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

議会事務局 挨拶

【主な説明】

議会事務局

【主な質疑】

なし

■議員協議

向井座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願います。

—— 意見等なし ——

—— 市長等への質問等なし ——

■意向確認

議案第13号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

—— 修正・反対等の意見無し ——

向井座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行います。報告については座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調整させ、座長、副座長において内容確認を行いたいと思います。

—— 異議なし ——

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

13:55 散会